

東日本大震災

海産物購入など支援へ

東大阪市老連 1年後の被災地視察

「3・11」を忘れな
い。東大阪市老連
(山下修会長)の理事
29人は、東日本大震災
から1年たった3月14
日から16日までの2泊
3日の日程で岩手・釜
石市と宮城・名取市の
被災地を視察しまし
た。

「何か手助け、支援が
できないだろうか」と
理事研修会の行事で行
くことになりました。
名取市では、市社会
福祉協議会(佐々木秀
典会長)の人たちと懇
談し、被災された方に
励ましの言葉を贈りま
したが、山下会長は「復
旧・復興対策の遅れが
印象に残った」と語り、
理事会が今後、閑上地
区の海産物購入による
支援活動と交流を継続
的に行うよう話し合い
がまとまりました。



復旧が遅れている集落(宮城・名取市で)

震災1年後の現場を
見た一部理事の感想を
紹介します。

▼理事研修に参加して
がれきの山、やま。

想像以上の風景に心が
痛む。児童の作文「僕
は泣かない。お父さん、
お母さん、お姉さんの

分まで強く生きる」を
聞いた時、涙を隠すこ
とができなかった。同
時に強さと頼もしさを

▼復興を切に願って
塩釜港へ向かう車窓
からの景色は、漁船が

山積みになっているな
ど痛ましい。観光地で
元気なバスガイドさん
に会った。バス16台の
うち、10台が流された。

感じ、こん
なすばらし
い子どもた
ちが日本の
将来を担っ
てくれれば
とうれしく
思った。帰
路、少しま
も役に立つ
よう土産を
買う。頑張
れ東北!
(理事)

震災3か月後に営業を
再開、最初のお客さん
は大阪からだった。こ
うして来てくれたのも
大阪のお客さんだ」と
喜んでくれた。

▼人々が戻って来ない
名取市閑上地区は津
波の被害が大きかつ
た。震災前、7500
人いた人たちが、現在
は500人足らずとい
う。住宅が一扫され、
土台しか残っていない
現場に立って、はじめ
て悲惨な災害の実情が
わかった。震災前は、
お父ちゃんが魚を取っ
てきて、お母ちゃんが
売り歩いて生活を営ん
でいた暮らしがあった
ことを。(理事)

山積みになっているな
ど痛ましい。観光地で
元気なバスガイドさん
に会った。バス16台の
うち、10台が流された。